

平成28年1月21日
枚方信用金庫
京阪電気鉄道株式会社

「ひらしん」と「京阪電車」が包括連携協定を締結

枚方信用金庫（本店：枚方市岡東町 理事長：吉野 敬昌、以下、「ひらしん」）と京阪電気鉄道株式会社（本社：大阪市中央区 社長：加藤 好文 以下、「京阪電車」）は、相互の連携を強化し、北河内7市（枚方市、寝屋川市、守口市、門真市、大東市、交野市、四條畷市）における地域の持続的な活性化に資することを目的に、包括連携協定を締結しました。

自律的で持続的な社会を創生できるよう、地方経済を振興し、若者を中心に地元で職を得て、豊かな暮らしを実現する、という地方創生が自治体にとっての課題となっております。

そのなかで、「ひらしん」は、北河内6市（枚方市、寝屋川市、門真市、大東市、交野市、四條畷市）において『まち・ひと・しごと創生総合戦略』に委員として参画し、官民共同で地域の活性化を目指しています。「京阪電車」においては、「くずはローズタウン」（枚方市・八幡市）など成熟期を迎えつつある沿線地域を再活性化するため、「沿線再耕」を中期経営計画（2015～2017年度）に掲げソフト・ハードの両面から街づくりを推進しています。

そういった背景のもと、「京阪電車」が「くずはローズタウン」において採択された国土交通省の「既存住宅流通促進モデル事業」で地域活性化に向けた思いが両社一致したことによる連携を機に、さらに連携の幅を広げることで沿線の経済基盤の強化とさらなる発展を相乗的に進めるため、今般包括連携協定を締結するに至りました。

今後は、具体的な連携協力に取り組んでいる不動産事業に限らず、その他の事業でも幅広く連携協力しながら、お年寄りから子育て世代まで多くの方に愛され、次の世代へと「巡り住む（めぐりすむ）」街づくりの活動を『巡りズム』と称し、地域の持続的な発展に資するべく取り組んでまいります。

なお、協定の概要は下記のとおりです。

記

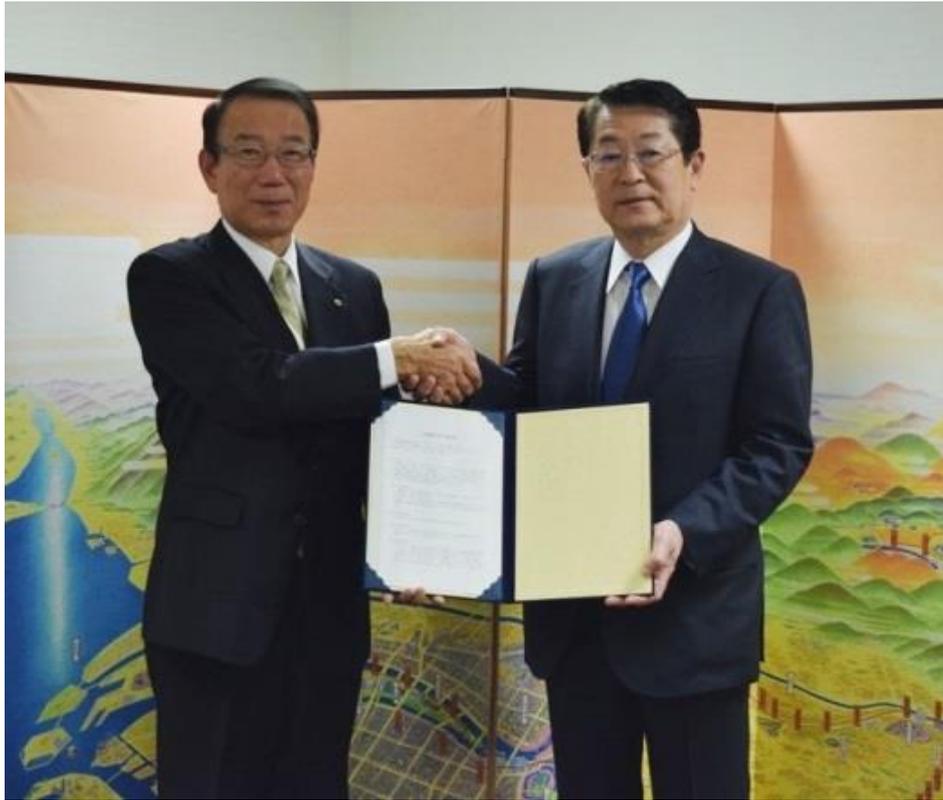
1. 目的

「ひらしん」と「京阪電車」は、北河内7市の経済力及び競争力を強化するために、包括的に連携・協力する。それをもって沿線の経済基盤の強化とさらなる発展を相乗的に進める。

2. 連携会議の設置

具体的な活動・事業については、連携会議を設置し検討を進める。

以上



京阪電気鉄道株式会社 本社にて（左：吉野理事長 右：加藤社長）